

第 63 回「言葉の院外処方箋」

『風変りな話 ～ ユーモア溢れる 心温まる ～』

新渡戸稲造記念センター 長 樋野興夫

2021年6月26日 尼崎での『アスベスト患者と家族の会』の主催者の方から、「昨日は本当にありがとうございました。少しホッとした、風変りな話という感想がありました。先生の著書を10冊ほど会の中で配りたいのですが、読みやすいものを何か1冊ご推薦いただけませんか。よろしく願いいたします。」とのユーモア溢れるメールを頂いた。また、尼崎の友人、知人と京都から参加されていた大学の先生から、『アスベストにつきまして、当事者やご家族の思いをお聴きでき大変勉強になりました。尼崎市長の報告から始まり、熱心に取り組まれているのだと思いました。昨日は、間隔を空けて座りましたが、準備されていた椅子100席は満席で皆様熱心にお聴きされていました。樋野興夫先生がアメリカに留学され、発がんの仕組みの研究を終えられ、日本に帰国後、遺伝性のがん研究をされていたときに中皮腫の早期診断に応用出来ると研究されたと。順天堂大学病院は「アスベスト・中皮腫外来」を開設、呼吸器科関連の臨床医が関わる中、樋野先生は中皮腫診断をする開発をする病理医として、アスベスト・中皮腫外来にも参加され、当事者の話しを直接聞くようになられ、来られる人はみんな、やり場のない怒りや悔しき、苦悩を抱えておられ、その詳しい病状は研究に生かされ、それが、後に、「がん哲学外来」につながっていったと言うことなどのつながりがよく理解できました。」と、筆者の研究歴を丁寧に整理されたメールが届いた。ただただ感服である。また、筆者のブログを読まれた甲府在住の方から、『「天寿がん」という考え方、生き方、の奥深い意味を、伝えて頂き、こちらへも感動が伝わってきます。長島愛生園と神谷美恵子と新渡戸稲造。歴史を重ねる中で、更に現代的な意味を、樋野先生からお聞きしたいものです。』との励ましのメールを頂いた。

2021年6月27日 聖蹟桜ヶ丘の教会での講演に招待された(画像1)。「ゲスト：樋野興夫氏テーマ：がん哲学外来からの気づき～2人に1人が、がんになる時代の生き方～主催：多摩ニュータウン地域協力教会牧師会 下記のリンクから you tube にアクセスしてください。<https://youtu.be/x2iVvyrCk14>」との案内が『心のSpring Water (湧き水)』ニューズレター(画像2)を担当されている方から届いた。早速、「拝聴(視聴)させていただきました。」「樋野先生の行動力、人脈のお陰で、更に、交流の輪が広がりますね。感謝でございます。」との連絡があった。また、主催された桜ヶ丘教会 水口功 牧師

からは、「今日の先生の講演から とても良い整理が与えられたという感謝メールを 早速にいただきました。先生と個人的にお話できたのも幸いでした。先生の存在とお働きが益々祝されますように。サインもありがとうございました。」のとの心温まるメールを頂いた。 コロナ時代の広報のあり方を体験する日々である。

2021年特別講演会

がん 哲学 外来 からの 気づき

二人に一人が、がんになる時代の生き方

講師 樋野興夫 (ひの・おきお)

順天堂大学 名誉教授、順天堂大学医学部病理・腫瘍学客員教授、新渡戸稲造記念センター長。
がん患者の不安や苦しみと向き合い、対話を通して支援する「がん哲学外来」を創設。
全国170カ所でがん哲学外来・メディカルカフェが開かれている。



日時／6月27日(日曜日) 午後2時～4時(午後1時30分開場)

会場／桜ヶ丘キリスト教会

YouTubeからでも参加できます!

詳細は裏面のお近くの教会へお問い合わせください。

講師／樋野興夫(ひの・おきお) 順天堂大学 名誉教授

主催／多摩ニュータウン地域協力教会

